

**製品名: eIF5B ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10395**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	139kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EIF5B
別名	EIF5B; IF2; KIAA0741; Eukaryotic translation initiation factor 5B; eIF-5B; Translation initiation factor IF-2
遺伝子 ID	9669.0
SwissProt ID	O60841
免疫原	抗血清はヒト EIF5B 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1051-1100

**背景**

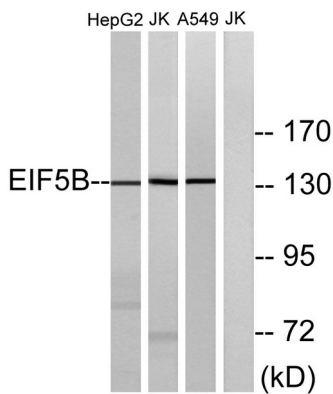
真核生物における正確な翻訳開始は複雑で、多くの因子を必要とし、その中には複数のサブユニットからなるものもあります。原核

生物では、開始因子が3つ (IF1、IF2、IF3) しか存在しないため、このプロセスはより単純です。これらの因子のうち2つは真核生物で保存されており、IF1の相同遺伝子はeIF1A、IF2の相同遺伝子はeIF5Bです。この遺伝子はeIF5Bをコードしています。eIF1AとeIF5Bは、他の開始因子やGTPとともにリボソーム上で相互作用し、開始メチオニン tRNA を mRNA の開始コドンに配置して、翻訳を正確に開始させます。[RefSeq 提供、2008年7月]機能: ホルミルメチオニン tRNA のリボソームへの結合を促進することで、一般的な翻訳開始に機能します。eIF-2と一緒に機能するようです。類似性:IF-2ファミリーに属します。サブユニット:カルシウムとリン脂質依存的に ANXA5 と相互作用します。、

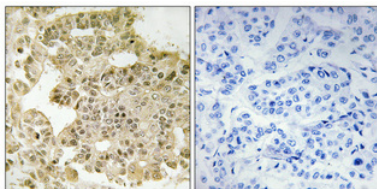
## 研究分野

-

## 画像データ



EIF5B 抗体を用いた Jurkat 細胞、HepG2 細胞、A549 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。